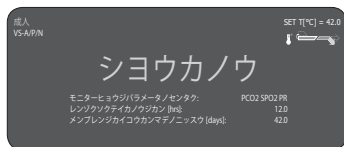


クイックリファレンスガイド

sentec デジタルモニタリングシステム
(ソフトウェアバージョン SMB SW-V07.01; MPB SW-V05.01)

通常の使用



使用前に、「シヨウカノウ」メッセージがモニターの上に表示されることを確認して下さい。

チェック: 1) 現在のプロフィール、2) 選択中の患者モード(成人/新生児)、3) 温度測定、4) モニタリング時間

下表を参考に希望する測定パラメータ、装着部位、推奨されるアクセサリーを選択して下さい。

メンブレンとセンサの状態を確認してください。

V-Sign™ センサ 2 VS-A/P/N の測定部位とセンサ装着

成人/小児患者(生後1ヶ月超)

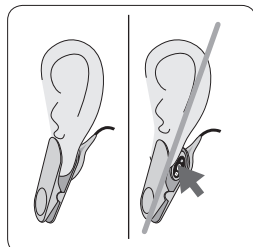
パラメーター	測定部位	皮膚状態	装着用アクセサリー
PCO ₂ , SpO ₂ /PR	耳朶	正常	イヤークリップ
	額下部、頬	正常	MAR-MI
		敏感、弱い	MAR-SF
PCO ₂	耳朶	正常	イヤークリップ
	額下部、頬、鎖骨下胸部、上腕、耳の後ろ	正常	MAR-MI
		敏感、弱い	MAR-SF
SpO ₂ /PR	耳朶	正常	イヤークリップ
	額下部、頬	正常	MAR-MI
		敏感、弱い	MAR-SF
	指、つま先(患者 >20kg)	正常	SpO ₂ ソフトセンサ

新生児(生後1ヶ月まで)

パラメーター	測定部位	皮膚状態	装着用アクセサリー
PCO ₂	鎖骨下胸部、腹部、背中、額下部、大腿部内側または後方	正常	MAR-MI
		敏感、弱い	MAR-SF

メモ: V-Sign™ センサ VS-A/P (グレーのケーブル) の場合、SpO₂/PR モニタリングは成人/小児患者の耳朶に装着する場合のみ可能です。

メモ: SpO₂/PR パラメータが選択した測定部位でサポートされていない場合、これらのパラメータが無効になっていることを確認してください。



イヤークリップによるV-Sign™ センサの装着

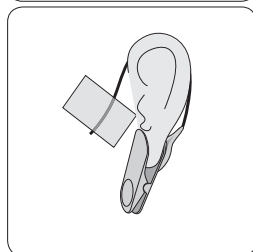
1. 耳朶を70%イソプロパノールで湿らせた綿球などを用いて清潔にし、乾燥させます。センサーをイヤークリップに挿入し、粘着テープの2枚のカバーを外し、コンタクトリキッド^①を少量センサー表面に載せます。コンタクトリキッドがセンサ面から垂れないようにセンサを持ちます。
2. 耳朶を水平に引っ張ります。センサを水平に動かして耳朶の裏側に装着してください。上からクリップを閉じ、耳朶を元の位置に戻します。

メモ: センサの黒い面全体が耳朶で覆われていることを確認してください。空気の層が皮膚とセンサーの間にできないようにしてください。

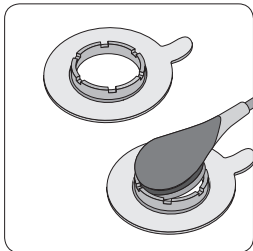
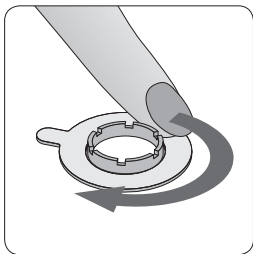
3. ケーブルを耳の周りに1回巻き、図のように頬にテープで固定してください。センサーとイヤークリップを指でそっと押さえ、きちんと装着されていることを確認します。ケーブルをクリップでシャツかベッドシーツに固定してください。

^①コンタクトリキッド: コンタクトジェル、清潔な水道水、滅菌水、滅菌食塩水

警告: 測定部位に如何なる圧力(例えば、圧迫包帯を使用する)を加えた場合、測定部位の圧迫虚血を引き起こし、その結果、不正確な測定結果や、測定部位の壊死や加熱されたセンサによるやけどなどを引き起こす可能性があります。



マルチサイト・アタッチメントリングによるセンサー装着



1. 必要に応じて剃毛してください。測定部位を70%イソプロパノールで湿らせた綿球などを用いて清潔にし、乾燥させます。
2. アタッチメントリングの粘着テープのライナーを外し、リングを測定部位に取り付けます。スナップリングをそっと押します。指でリングの周囲に触れ、粘着部全体と皮膚がよく密着しているかを確認します。
3. コンタクトリキッド⁽¹⁾を少量、アタッチメントリング中心の皮膚に載せます。コンタクトリキッドが粘着部に付着しないようにしてください。
4. センサーをアタッチメントリングに押し付けてはめ込み、リング内のセンサーをそっと皮膚に押し付けるように回して、コンタクトリキッド⁽¹⁾を広げます。空気の層が皮膚とセンサーの間にできないようにしてください。ケーブルをクリップでシャツかベッドシーツに固定してください。額/頬に装着する場合はケーブルを先に耳に1回巻いてください。

メモ: あるいは、センサーを先にマルチサイト・アタッチメントリングに取り付け、皮膚に装着することもできます。

⁽¹⁾ コンタクトリキッド: コンタクトジェル、清潔な水道水、滅菌水、滅菌食塩水

! 警告: 測定部位に如何なる圧力(例えば、圧迫包帯を使用する)を加えた場合、測定部位の圧迫虚血を引き起こし、その結果、不正確な測定結果や、測定部位の壊死や加熱されたセンサによるやけどなどを引き起こす可能性があります。

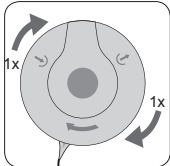
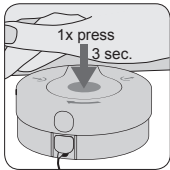
患者モニタリング

PCO₂が初めに上昇し(PCO₂安定化期間)、SpO₂とPRが有効な場合はこれらが安定していることを確認します。必要に応じてセンサーを装着しなおします。

モニタリング後

モニタリングが終了した場合またはモニタリング時間が過ぎた場合、センサを患者から取外し、皮膚、メンブレン、センサの状態を確認してください。センサを70%イソプロパノールで湿らせた綿棒で清掃し、常時、ドッキングステーション内に保管してください。

メンテナンス間隔



4x

少なくともモニターで要求されたとおりにセンサーメンブレンを交換してください。平らな固い面にメンブレンチェンジャーを置きます。メンブレン表面を上向きにしてセンサ上部を持ち、V-Sign™をメンブレンチェンジャーへ挿入します。以下の4回のプロセスを繰り返す間、メンブレンチェンジャーを水平に保ってください。

1. ゆっくりと、しかし手の付け根でしっかりと押し下げます。
2. メンブレンチェンジャーの底を片手でつかみ、もう一方の手で上部を右方向に止まるまで回します。

最後に、センサーをメンブレンチェンジャーから取り出し、メンブレンがしっかりと取り付けられていることを確認します。メンブレンの交換をモニター上で確定し、センサーをドッキングステーション内に収めます。キャリブレーションが自動的に開始します。

センサや消耗品に関する操作方法や定期的な点検、メンテナンスに関しては、取扱説明書やテクニカルマニュアルのそれぞれの章を参照してください。

sentec

SenTec AG, Ringstrasse 39, CH-4106 Therwil, Switzerland. www.sentec.ch

CE
0120

HB-006489-e